**女性のための創業スクール・ワークシート**

「情報そのもの」　と　「情報のありか」を記録する

後日もう一度みて活用できるように、

**URL、記事見出し、閲覧年月日、記事概要、出典**などを記録　（コピー＆ペースト）しておきます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 創業したい業種 |  | |
| キーワードになりそうな言葉を探す。 | **「**[**ウィキペディア**](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8)**」**  「[**コトバンク**](https://kotobank.jp/)**」**などの  web事典を利用する |  |
| 他の人の創業計画書をみてみる | ・[日本政策金融公庫](https://www.jfc.go.jp/n/service/dl_kokumin.html)**などから事例を見る**  **・Google検索で**  **「創業計画書」**  **というキーワードを追加してみる**  例「美容師　**創業計画書**」 |  |
|  | 参考 | スマホから印刷する  <http://apicodes.hatenablog.com/entry/conbini_print> |
| すでに創業している人は、何を「売り」にしているのか | ・Google検索で  「創業　事例」や、  「創業　体験」  というキーワードを追加してみる。  例「美容師　創業　事例」「美容師　創業　体験」  **・「**[**cotoha.comトピックス**](http://cotoha.com/)**」**などのQ&Aサイトの利用 | 「売り」についての情報例：個人のブログ　　　　http://limehair.cc/3382/  美容業界は、ネットワーク効果によって、お客様とスタイリストがより直接繋りやすくなり、より個人に合わせたパーソナルな世界になっていくのではないかと思っています。  あなたにあった髪型・あなたにあった美容師・あなたにあった人生。  今の時代、お客様はいいサロンを探すより、いい美容師に出会いたいという人も多くなって来ています。  カルテ管理に使っていた時間をスキルアップのためにカルテ管理用アプリを開発。 |
| 業界動向はどうなっているか | Google検索で  「業界」  というキーワードを追加してみる。  例「美容　業界」  図書の活用 |  |
| トレンドはどうなっているか | [**Googleトレンド**](https://trends.google.co.jp/trends/)をみる  新聞記事検索をしてみる（新聞の特徴：早い、信頼性がある、新規性がある） |  |
| 関係法令を確認する  （行政資料として各種の情報が得られる） | 行政資料を探す方法  Google＞設定＞検索オプション＞  ドメインを「go.jp」に限定 |  |
| 業界団体のサイトでは、  まとまった情報や統計を見れる場合がある | Google検索で  「業界団体」  というキーワードを追加してみる。  例「美容　業界団体」 |  |
| 創業のメリット、  デメリット、  心理的な不安、その解決策の例を探す | 上記で検索する中から、メリット、デメリット、不安や解決策に該当するものを記録する。 |  |